

# HUB-IBARAKI ART PROJECT 2022

ハブ - イバラキアートプロジェクト 2022

## 作家公募のご案内【締切：2022年2月22日（火）】

このたび「HUB-IBARAKI ART PROJECT」（主催：茨木市、アートを活用したまちづくり推進事業『HUB-IBARAKI ART』実行委員会）では、今年プロジェクト（2022年4月～9月）に参画していただく作家の公募を開始いたします。つきましては、本公募の周知にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ◆ 「HUB-IBARAKI ART PROJECT 2022」作家公募 概要

【テーマ】茨木のまちとアートの新たな関係を取り結ぶ パブリックを拡張するアートプロジェクト

【応募受付期間】2022年1月5日（水）～2月22日（火）

【募集人数】1名（グループでの応募も可）

【制作補助費】80万円

【応募資格】国内でアートの創作活動をしていること（個人／グループ、ジャンル、年齢不問）

#### 【募集内容】

本プロジェクト期間（2022年4月～9月：6か月間）に制作・発表する作品のプラン、およびプロジェクト期間中の活動計画

#### 【作品規格】

素材、形態を問わず、作品を発表・展示する形式を原則とし、その事前プロセスを活用した表現や取り組みも含めることを推奨します。作品の発表・展示は、茨木市内でおこなうこととします。屋内屋外を問わず、茨木市内で発表することに意義のある作品をご提案ください。

【選考】2022年3月上旬までに、審査員による厳正な選考をおこない、選定作家を決定します。

【審査員】木村 光佑（版画・彫刻家、京都工芸繊維大学名誉教授・元学長、茨木美術協会会長）、雨森 信（Breaker Project ディレクター、大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員）、平田 剛志（美術批評）、はが みちこ（アートメディエーター、京都市立芸術大学芸術資源研究センター非常勤研究員）、山中 俊広（HUB-IBARAKI ART PROJECT チーフディレクター、インディペンデント・キュレーター）

#### 【応募予定者向けプロジェクト説明会（オンライン）】

日時：2022年1月21日（金）19:00～20:30、1月22日（土）19:00～20:30

※参加希望の方は、お名前と参加日を本文に記入の上、1/20（木）までにメール（[bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp](mailto:bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp)）にてお申込みください。

#### 【応募申込先／お問い合わせ先】

アートを活用したまちづくり推進事業『HUB-IBARAKI ART』実行委員会

〒567-8505 茨木市駅前三丁目 8-13 茨木市市民文化部文化振興課内

E-mail : [bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp](mailto:bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp) Tel : 072-620-1810（直通）

【公式サイト】<https://hub-ibaraki-art.com>

本件に関するお問い合わせ：

茨木市役所 市民文化部文化振興課 [担当：國米（こくまい）]

E-mail : [bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp](mailto:bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp) Tel : 072-620-1810（直通）

〒567-8505 茨木市駅前三丁目 8-13 茨木市役所南館 8階

応募受付期間 — 2022年 1月5日(水) — 2月22日(火) 必着

テーマ — 茨木のまちとアートの新たな関係を取り結ぶ パブリックを拡張するアートプロジェクト

OPEN CALL

作家  
公募  
開始

募集人数 — 1名(グループも可)

制作補助費 — 80万円

公募からプロジェクト実施までの流れ Open Call ▶ Project

2022

## 1 募集受付期間

2022

1月5日(水)～2月22日(火) **必着**

◎提出書類・資料一式を、持参  
または郵送で事務局に提出  
(締切日必着)

2

## 3 選定作家決定

2022

3月上旬

◎審査員による厳正な審査を経て作家を決定  
◎審査結果は応募者全員に通知し、選定作家は公式サイトにて発表

◎3月中に主催者と顔合わせ

## 4 プロジェクト実施期間／作品発表

2022

4月～9月下旬

◎公募で提出された作品構想を基に、主催者と作品発表および活動の内容、プロジェクト全体の構成およびスケジュールの検討  
◎プロジェクトの構成に沿って、発表作品の制作および関連イベントの準備  
◎期間中に作品の発表をおこなうと共に、作品の制作過程を活用した関連イベントなどを茨木市内で実施

※新型コロナウイルスの状況やその他の都合により、スケジュールが変更する場合があります。

PROJECT OPENING

PRESENT WORKS

EVENT

CLOSING

## 応募予定者向けオンラインプロジェクト説明会

応募を検討されている方を対象とした説明会を、Zoomを使ったオンライン形式で2回実施します。

公募の概要及び過去のHUB-IBARAKIの活動についての説明をおこない、公募に関する個別の質問にもお答えします。

日時：2022年 1月21日(金) 19:00～20:30  
2022年 1月22日(土) 19:00～20:30

※参加希望の方は、1/20(木)までにメールにてお名前と参加日を本文に記入の上お申込みください。

✉ [bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp](mailto:bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp)

## これまでの開催実績

## 2016-17年度

作家 中島 麦 NAKAJIMA Mugi

作品名 《WM ウム》

会場 茨木市生涯学習センターきらめき、茨木市役所、茨木市役所合同庁舎 7階 本郷タリウム天文観望室、ほか 8会場

【活動概要】

茨木市の公共施設 8か所に、恒久設置を前提とした絵画・壁画作品を発表。一部の会場では、現地での公開制作のほか、5つの関連企画を実施。



## 2017-18年度

作家 稲垣 元則 INAGAKI Motonori

作品名 《The Light》

会場 サワラギヤ

【活動概要】

民間の店舗を展示会場に、店舗正面のガラス面に4種類の映像作品を6か月の会期中断続的に発表。夜間のみ作品公開とすると共に、4つの関連企画を実施。



## 2018-19年度

作家 冬木 遼太郎 FUYUKI Ryotaro

作品名 《突然の風景》

会場 茨木市中央公園北グラウンド

【活動概要】

車とクラクションの音で音楽を奏でる、1日限りの屋外での作品発表をメインに、制作のプロセス、周知活動、発表後の振り返りなど、会期中 12 の関連企画を実施。



## 2019-20年度

作家 永井 寿郎 NAGAI Toshiro

作品名 《FIXATIF 2020 – 特別な場所》

会場 ソシオ1 茨木ビル 2階ショーウィンドウ(作品発表)、市内7か所(ドローイングパフォーマンス)

【活動概要】

茨木市内 7か所での短時間のドローイングパフォーマンスと、その痕跡を捉える写真作品の発表をメインに、コロナ禍の市民交流の取り組みやトークなど、会期中5つの関連企画を実施。



## 2021年度

作家 黒田 健太 KURODA Kenta

作品名 《今、ここで、立ち尽くすために》

会場 茨木市福祉文化会館「オークシアター」文化ホール

【活動概要】

茨木市内でのリサーチ活動を経て、茨木の人々と協働した舞台作品の発表をメインに、作品の制作プロセスの公開、市民交流の取り組みやトークなど、会期中5つの関連企画を実施。



※過去のプロジェクトの活動詳細は、公式サイトをご覧ください。

## HUB-IBARAKI ART PROJECT 2022

「HUB-IBARAKI ART PROJECT」では、次回のプロジェクト(2022年4月より開催予定)に参画していただく作家を公募します。茨木のまちの個性・特性を独自の解釈で表現した、意欲的な作品発表の提案をお待ちしております。

## テーマ

茨木のまちとアートの新たな関係を取り結ぶ  
パブリックを拡張するアートプロジェクト

## プロジェクト実施のキーワード

- 1 パブリック(公共)の場でおこなう作品制作・発表およびプロジェクト全体の活動を通じて、茨木のまちへの多様な考え方や解釈を提示する。
- 2 長期間のアートの取り組み(プロジェクト)を通して、茨木で生活、活動するあらゆる人々に対してアートを「知る・楽しむ・遊ぶ」機会を創出し、「発見・探求」の体験を促進する。
- 3 あらゆる人がアートに触れられる機会と、アートとまちづくりの双方に新たな展開を創出できる作品発表の手法および場所を開拓する。
- 4 プロジェクトの取り組みを通じて、茨木で生活、活動するあらゆる人々、地元団体・組織との交流・連携を促進する。

募集人数 1名(グループでの応募も可)

## 応募資格

国内でアートの創作活動をしていること(個人/グループ・ジャンル・年齢不問)

制作補助費 80万円

- 実行委員会と締結する作品制作・設置に伴う業務委託契約をもって、制作補助費を支給します。
- 作品制作費、交通費、滞在宿泊費、運送費、設営費など、作品制作、発表・展示およびリサーチ活動に関する全ての経費に利用できます。なお、プロジェクトの公式フライヤーの制作などの広報に関する費用、主催者側が指定する関連プログラムに関する費用は含みません。
- 総額 80 万円を超える経費については、作家の負担とします。

## 作品規格

素材、形態を問わず、作品を発表・展示する形式を原則としますが、その事前プロセスを活用した表現や取り組みも含めることを推奨します。作品の発表・展示は、茨木市内でおこなうこととします。屋内屋外を問わず、茨木市内で発表することに意義のある作品をご提案ください。(発表・展示場所の希望があれば、作品構想に記載してください)

## 選考について

2022年3月上旬までに審査員による厳正な選考をおこない、選定作家を決定します。選考結果は応募者全員に通知するとともに、選定作家を公式サイトで発表します。

## 選考基準

- 1 提案した作品構想を確実に遂行できる、実績とスキルがあるか
- 2 提案した作品構想に、現代の表現として獨創性があるか
- 3 提案した作品構想が、実行可能な方法・計画で立案されているか
- 4 提案した作品および、制作過程やイベント等に、「まち」や「市民」との交流の可能性を感じられるか
- 5 提案した作品構想に、公共の環境やプロジェクトの動きの中で様々な制限が生じた時に、変更・調整の対応ができる柔軟性があるか
- 6 提案した作品構想が、プロジェクトのテーマ、キーワードに沿ったものであるか

※公共の場での発表となるため、政治的 / 宗教的 / 性的 / 暴力的 / 営利的等の表現、法令、公序良俗に反する画像、文字等を使用した制作プランについては、選考の対象外となる場合があります。

## 審査員



木村 光佑  
版画・彫刻家、  
京都工芸繊維大学名誉教授・元学長、茨木美術協会会長



雨森 信  
Breaker Project ディレクター・大阪国立大学都市研究プラザ特別研究員



平田 剛志  
美術批評



はが みちこ  
アートメディアーター、  
京都市立芸術大学芸術資源研究センター非常勤研究員



山中 俊広  
HUB-IBARAKI ART PROJECT チーフディレクター・インディペンデント・キュレーター

## 募集要項

## プロジェクト参画について

## サポート内容

- 制作補助費 80 万円の支給
- 広報サポート (WEB サイト、SNS 等での情報発信、プレスリリース発行、公式フライヤー制作など)
- 作品制作および発表・展示方法、イベント等の提案・実施サポート
- 茨木市民、茨木市で活動する文化関係者・団体とのコミュニケーションの仲介サポート
- プロジェクト終了後の記録集の制作(2022 年度末に発行予定)

## 選定作家に課せられる要件

- 2022 年 4 月から、茨木市内にて作品制作・発表のための活動を始めること
- リサーチや作品制作のため、積極的に茨木市に滞在または訪問すること
- 事務局と対話、協働しながら、作品制作および発表、関連イベントを進めること
- 作品制作の過程を随時一般公開し、その中で積極的に茨木市民および関係者との交流機会の創出に努めること
- プロジェクト実施期間中に開催する、トークショー、ワークショップ等関連イベントの実施に協力すること
- 2022 年 9 月下旬までに、完成した作品を茨木市内で発表・展示する機会を設けること

## 作品制作・発表に関する注意事項

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための茨木市のイベント開催ガイドラインを遵守して、事務局と共に全ての内容を検討・調整し、実施することとします。
- 作品の内容・形態、その発表方法や展示場所は、公募時に提出された作品構想を基に、事務局と調整しながら進めることとします。場合によっては、それらの変更をお願いすることがあります。
- 作品の制作にあたっては、展示中の作品の破損・劣化、会場施設の破損、対人・対物事故の無いようご注意ください。主催者は作品の取り扱いには万全を期しますが、輸送および展示中を含め万一の事故に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 展示終了後は、会場を作品設置前の状態に現状復帰していただきます。ただし、主催者および設置施設の管理者の承認を得た場合はその限りではありません。
- 本プロジェクトで発表した作品の著作権は、作家に帰属するものとします。ただし、出版物やホームページ等、広報物への掲載に関する権利については、プロジェクト期間及び発表期間の終了後も主催者に対して許諾するものとします。

## 応募方法

募集期間内に、下記の書類を事務局まで郵送または持参してご応募ください。なお、応募点数は1名(1組)につき、1点とします。応募書類は原則として返却しません。(※「③過去の活動資料」の返却をご希望の際は、切手を貼付した返信用封筒を同封ください。)

## 提出書類・資料

- ① 応募用紙  
公式サイトより所定の書式をダウンロードして、必要事項を記入してください
- ② 作品構想  
最大 A3 サイズの用紙に、作品、発表方法および現地での活動の構想をプレゼンテーションしてください。(書式、枚数不問)
- ③ 過去の活動資料  
経歴書、過去の作品記録等を、A4 クリアファイル 20 ページ以内にまとめてください。映像、音声データがある場合は、DVD1 枚に 10 分以内で収録して添付してください。

## 応募申込先／お問い合わせ先

アートを活用したまちづくり推進事業「HUB-IBARAKI ART」実行委員会事務局  
〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8-13 茨木市市民文化部文化振興課内

✉ [bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp](mailto:bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp)

☎ 072-620-1810(直通)

公式サイト

<https://hub-ibaraki-art.com/>



# HUB-IBARAKI ART PROJECT

## HUB-IBARAKI ART PROJECT

ART PROJECT expanding PUBLIC

New relationship between ART and IBARAKI-City

「HUB-IBARAKI ART PROJECT」は、「継続的なアート事業によるまちづくり」を主題として毎年実施している大阪府茨木市のアートプロジェクトです。

茨木市で生活、活動する人々が、現代アート作品、アーティストとの交流を通して、アートの本質的な魅力である「表現の豊かさ/美しさ」「探求心」に触れて、その体験をそれぞれの日常の中へ還元していくことのできるアートプロジェクトを目指しています。

本プロジェクトのルーツは、2008年度の「茨木市彫刻設置事業」までさかのぼり、ヤノベケンジ《サン・チャイルド》(2011年度)、名和晃平《Trans - Ren (Bump, White)》(2012年度)が茨木市内に恒久設置されました。

アート

+

パブリック

+

拡張

+

拡張

2013年度から「HUB-IBARAKI ART COMPETITION」として現在の作家公募と長期間展示の形式にリニューアルし、2015年度からは作家を1名に絞って実施しています。さらに2016年度からは「HUB-IBARAKI ART PROJECT」に名称を変更して、アートによる茨木市のまちへの積極的な関わりを推奨する、アートプロジェクト色を強めた企画を展開しています。

応募申込先 / お問い合わせ先

アートを活用したまちづくり推進事業 『HUB-IBARAKI ART』実行委員会事務局  
〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8-13 茨木市市民文化部文化振興課内

✉ bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp ☎ 072-620-1810(直通)

📌 HUBIBARAKIARTPROJECT 📷 hubibaraki\_art 📺 HubIbaraki 📺 HUB-IBARAKI ART PROJECT

<https://hub-ibaraki-art.com/>

